



## エレクトリックコンデンサマイク用マイクアンプ KAC-M100

### 取扱説明書

## 【特徴】

### 高音質設計とモバイル環境に徹したエレクトリックコンデンサマイク専用アンプ

KAC-M100 は、エレクトリックコンデンサマイクの高感度・高音質をあますことなく引き出す、電池駆動マイクアンプです。モバイルとしての使用を前提にしていますので、頑健で信頼性の高い内部構造となっています。

- 高音質オペアンプ (NJM5532DD) を使用し、低雑音・低歪みな音質を実現しています。回路も非常にシンプルで、コンデンサマイクの高感度・高音質性能を活かす構成になっています。
- 電源は 006P 型 9V 電池を 2 個使用し、さらに電池駆動にもかかわらず安定化電源を採用することによって、正電源、負電源とも安定した電圧を実現。高音質オペアンプの能力をフルに引き出します。また、40 時間以上の長時間動作が 가능합니다。
- シヤシーは外部・内部の 2 重構造となっており、耐衝撃性・耐振動性に優れています。
- 突起部が少なく、ケーブルの引っかかり等による誤操作等を防いでいます。
- 出力用のカップリングコンデンサをバイパスすることができ、高音質化を徹底しています。※1)

※ 1) 出力用のカップリングコンデンサをバイパスすると、オフセット DC 電圧も出力されるため、最悪周辺機器を破壊する可能性があります。専門知識が必要ですので、お客様自信の責任においてバイパス設定を行ってください。

## 目次

1 使用上の注意	2
2 接続	3
(1) 各部の名称	3
(2) 接続・使用方法	3
3 電池交換	4
(1) リアパネル取り外し	4
(2) 電池交換	4
(3) リアパネルの取り付け	4
4 その他の設定	5
6 仕様	6

# 1. 使用上の注意

## ◇ 電源について◇

- 電池は 006P 型の 9V アルカリ電池をご使用ください。マンガン電池は使用しないでください。
- 雑音を発生する装置（モータ、調光器等）や消費電力の大きな機器の近くにマイクを設置しないでください。使用するコンデンサマイクにより、ノイズやハム音が発生する場合があります。
- 電源オン・オフ時に「プチッ」というノイズ（ポップ音）が発生しますが、故障ではありません。必ず本機の電源を入れてから周囲機器の電源を入れてください。
- 異常があったときには、電源スイッチを OFF にしてください。
  - ・煙が出たり、異常なおいや音がする。
  - ・音声が突然でなくなる。
  - ・内部に水や異物が入った。
  - ・本体が熱いそのまま使うと火災・感電の原因になる場合があります。電源を切って作る-com までご連絡ください。
- 電源スナップは確実に電池に装着してください。動作不良の原因となります。また、電池スナップのケーブルを無理に引っ張ったりしないでください。断線の原因となります。
- ぬれた手で、電池の交換をしないでください。故障の原因となります。
- 電池の交換は必ず電源スイッチを OFF にして行ってください。故障の原因となります。

## ◇ 接続について◇

- 本機はエレクトリックコンデンサマイク専用のアンプです。ダイナミック型等の他のタイプのマイクは接続しないでください。
- 電源を入れたままでのプラグの抜き差しは極力しないでください。
- 出力をショートしたり、誤った接続はしないでください。異常な発熱をしたり破損の原因となります。

## ◇ 取扱について◇

- モバイル用として頑健な構造になっておりますが、コンクリートの上に放り投げる等の過度の強い衝撃は与えないでください。故障の原因となります。
- 電源スイッチや接続部等に過度の圧力や衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 不安定な場所におかないでください。倒れたり落下すると、けがや故障の原因となります。
- 本機に異物（硬貨や針金等）、または液体（水、清涼飲料水、酒等）を入れないよう注意してください。故障の原因となります。

## ◇ 設置について◇

- 次のような場所に設置して使用すると、故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  - ・温度が極端に高い（60℃ 以上）場所（高温になる機器への積み重ね等）
  - ・湿度が極端に高い場所
  - ・ホコリが非常に多い場所
  - ・振動の激しい場所

## 2. 接続

### (1) 各部の名称

#### 【フロントパネル】

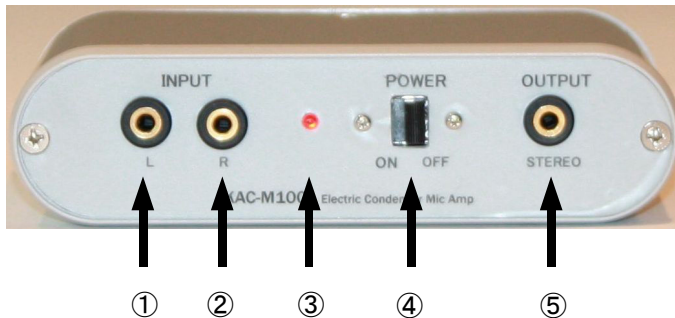


図1:フロントパネル

- ① Lch マイク入力(モノラル ミニジャック)  
コンデンサマイクを接続します。
- ② Rch マイク入力(モノラル ミニジャック)  
コンデンサマイクを接続します。
- ③ パイロットランプ  
電源 ON 時、点灯します。
- ④ 電源スイッチ(スライドスイッチ)  
左側で電源 OFF、右側で電源 ON です。
- ⑤ ライン出力(ステレオ ミニジャック)  
録音・再生機器に接続します。

#### 【リアパネル】



図2:リアパネル

- ⑥ リアパネル取付けネジ  
このネジをはずしてリアパネルを開け、  
電池を交換します。

### (2) 接続・使用方法

#### 【ステレオ】

- 1) Lch①/Rch② ジャックにそれぞれ右側 / 左側のマイクを接続します。マイクのケーブルは極力短くしてください。エレクトリックコンデンサマイクはインピーダンスが高く、電圧駆動のため、感度は高いのですが、耐ノイズ性が劣ります。  
(本機はエレクトリックコンデンサマイク専用です。ダイナミック型のマイクは接続しないでください。)
- 2) 出力ジャック⑤と録音・再生機器を接続します(周辺機器は電源 OFF としてください)。
- 3) 電源スイッチ④を ON にして本機の電源を入れてください。
- 4) 周辺機器の電源を入れ、録音・再生を開始してください。

#### 【モノラル】

本機はモノラルに対応しておりません。モノラルで使用する場合は、Lch もしくは Rch のみで使用してください。その時、使用しない ch は何も接続しないでください。

### 3. 電池交換

#### (1) リアパネルの取り外し

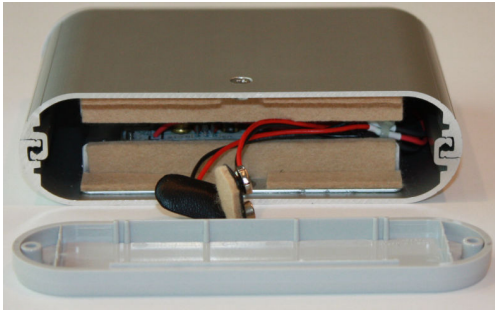


図3:リアパネルオープン

- 1) リアパネル取付けネジ⑥をはずし、リアパネルを開けます。
- 2) 電池スナップから電池をはずします。(図3)  
このとき、ケーブルを引っ張らないように注意してください。

#### (2) 電池交換



図4:電池接続

- 3) 電池を確実にスナップに取付け、リアパネルにはめます。(図4)

#### (3) リアパネルの取り付け



図5:リアパネル取り付け

- 4) リアパネル取付けネジ⑥でリアパネルを取り付けます。(図5)
- 6) 本体を軽く振ってみて、カタカタ音がせず、電池が固定されていることを確認してください。

電池交換かんりょうです。



## 4. その他の設定

### 【カップリングコンデンサのバイパス】

本機は出力にも良質のカップリングコンデンサ(WIMA MKS-4シリーズ)を使用しておりますが、本機に接続する機器によってはカップリングコンデンサが不要になる場合があります。その場合は内部スイッチによりカップリングコンデンサをバイパスし、より高い音質にすることができます。

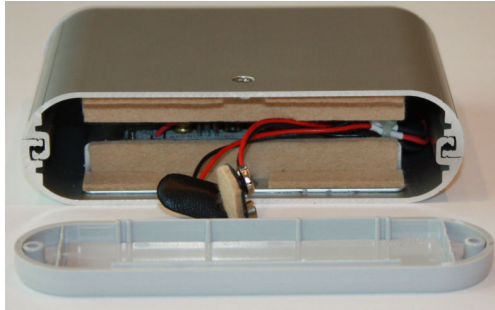


図6:リアパネル取りはずし

#### (1) リアパネルの取り外し

- リアパネル取付けネジ⑥をはずし、リアパネルを開けます。
- 電池スナップから電池をはずします。(図6)  
このとき、ケーブルを引っ張らないように注意してください。



図7:リアパネル固定ネジ取り外し

#### (2) フロントパネル固定ネジの取り外し

- 図7のように、フロントパネル固定ネジを取り外します。

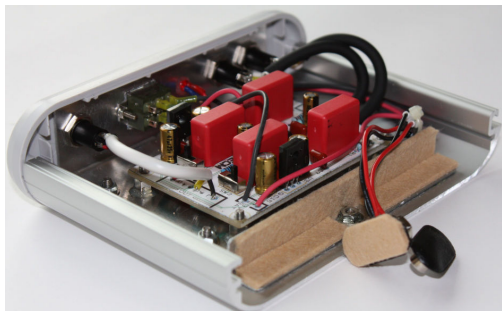


図8:本体上部カバーの取り外し

#### (3) 本体上部カバーの取り外し

- 本体上部カバーを後にずらしてははずします。  
図8のように内部が露出します。

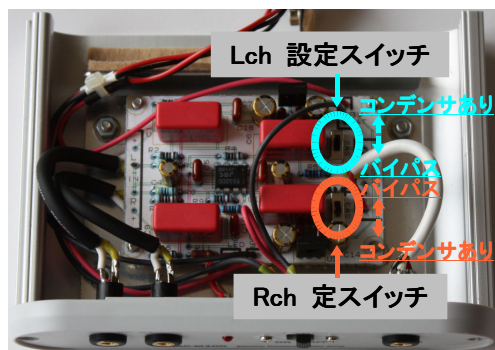


図9:スイッチ切り替え

#### (4) スイッチ切り替え

- カップリングコンデンサバイパススイッチを切り換えます。
- 【Lch設定用スライドスイッチ】
  - ・カップリングコンデンサ使用  
Lch 設定スイッチ(図9)を上側(本体後方)にスライドする
  - ・カップリングコンデンサバイパス  
Lch 設定スイッチ(図9)を下側(本体前方)にスライドする
- 【Rch設定用スライドスイッチ】
  - ・カップリングコンデンサ使用  
Rch 設定スイッチ(図9)を下側(本体前方)にスライドする
  - ・カップリングコンデンサバイパス  
Rch 設定スイッチ(図9)を上側(本体後方)にスライドする

#### (5) 元に戻す

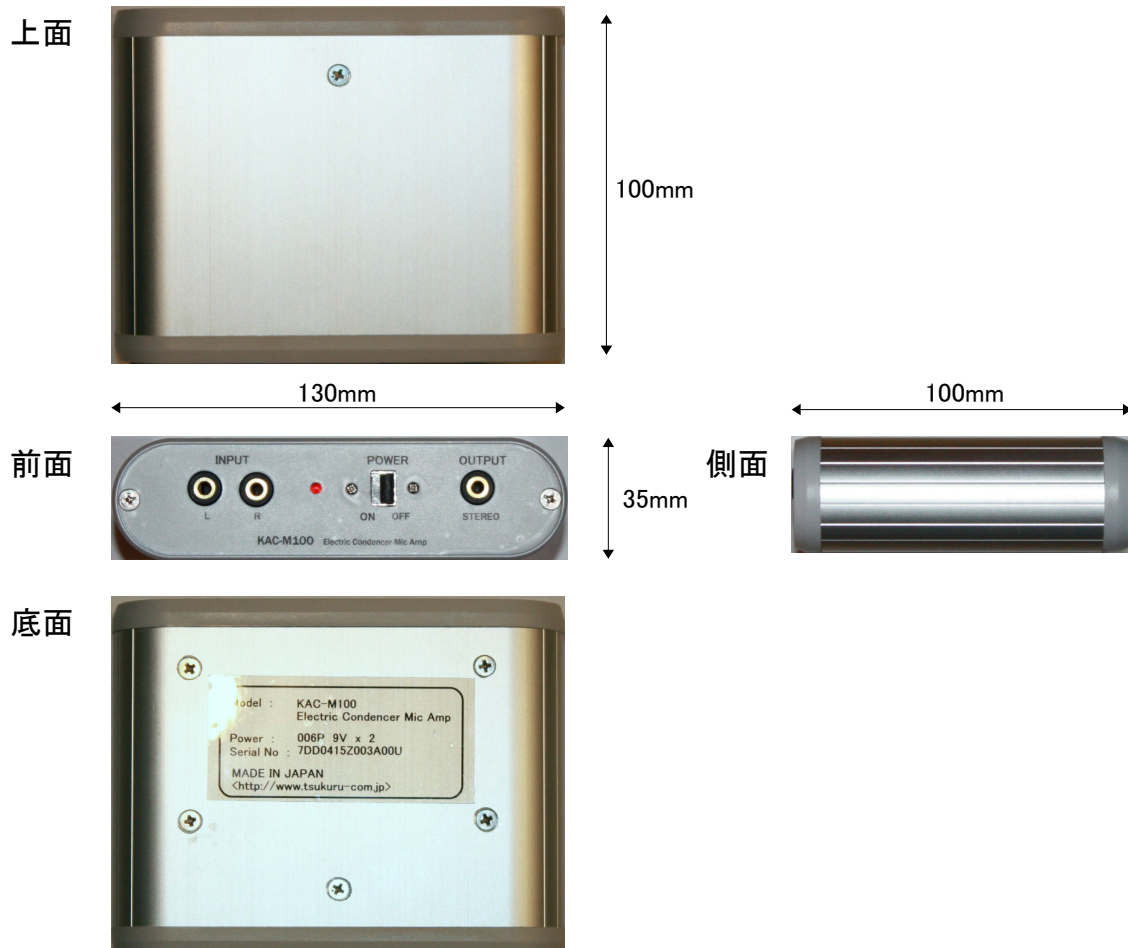
- (3)、(2)、(1)の順に  
本体カバー取り付け、フロントパネル固定ネジの取り付け、  
電池の接続、リアパネルの取り付けを行い、元にもどします。



図10:組み立て完了

## 5. 仕様

マイク入力	エレクトリックコンデンサマイク入力 2ch
オーディオ出力	ステレオライン出力
入力インピーダンス	10k $\Omega$
周波数特性	20 ~ 20kHz
電源	006P 型 9V 電池 × 2 (マンガン電池は使用できません)
消費電流	最大 20mA
連続使用時間	連続 50 時間以上 (アルカリ電池使用。使用環境により変化する可能性があります。)
付属品	取扱説明書、ドキュメント CD
外形寸法	130mm(W) x 35mm(H) x 100mm(D) (突起部含まず)
重量	275g



### KAC-M100 取扱説明書

2013年 4月 25日 第1版 発行

発行元 作る-com  
<http://www.tsukuru-com.jp>